

地区名	西濃地区	対象学年	3年	実施時期	12月						
題材名	どんなスポ - ツが好きですか。										
主な表現 補助資料	What sports do you like? I like ~ . 児童が描いた自分の好きな「スポ - ツ」の絵カ - ド 教師自作のインタビュー - ゲ - ムのカ - ド										
本時の目標	What sports do you like?という表現や「スポ - ツ」を表す語を使いながら、友達との問 答やゲ - ムを楽しむことができる。										
学習活動	教師の指導・援助	留意点									
挨拶タイム 1 はじめの挨拶をする。	J: 元気に挨拶する。 AET: Hello, everyone. S: Hello, (AETの名前). AET: How are you? S: I'm (fine), thank you. And you? AET: I'm great. AET, JTE: Let's start English. Are you ready? S: O K.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET と JTE は、元気よく挨拶をして、児童の活動への意欲を喚起する。</li> <li>・一人一人の様子を丁寧に見届ける。</li> </ul>									
活動タイム 2 AET と JTE のデモンスト レ - ションから本時の会話 の内容を推測する。	A&J: 児童が活動のイメージをも つことができるようモデルの問 答を見せる。 JTE: What sports do you like? AET: I like basketball.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET と JTE は、児童に会話の意味を日本語で教えるのではなく、本物の用具等を使ったジェスチャーによって表現し推測させる。</li> <li>・児童には、事前に家庭学習で、自分の好きなスポ - ツを一つ決めて、カ - ドに用具等を描かせておく。</li> <li>・JTE は、児童の描いてきた絵カ - ドをどの児童にも見えるように掲示する。</li> <li>・単調な練習にならないよう、リズムよく行う。</li> <li>・リピートさせるだけでなく、絵カードを見ながら児童自身が思いだして言える機会を多くする。</li> <li>・AET と JTE は、全ペアを見届け、自信のない児童をその場で援助する。</li> <li>・繰り返したり、児童に確認したりして、全員が理解できるようにする。</li> </ul>									
3 AET の後について、自分 の好きなスポ - ツや友達 の好きなスポ - ツの言い 方を練習する。	J: 児童一人一人に好きなスポ - ツを 尋ねる。AET は、ジェスチャー を交えながらスポ - ツの言い方 のモデルの発音をする。 (soccer, badminton, baseball 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童には、事前に家庭学習で、自分の好きなスポ - ツを一つ決めて、カ - ドに用具等を描かせておく。</li> <li>・JTE は、児童の描いてきた絵カ - ドをどの児童にも見えるように掲示する。</li> <li>・単調な練習にならないよう、リズムよく行う。</li> <li>・リピートさせるだけでなく、絵カードを見ながら児童自身が思いだして言える機会を多くする。</li> <li>・AET と JTE は、全ペアを見届け、自信のない児童をその場で援助する。</li> <li>・繰り返したり、児童に確認したりして、全員が理解できるようにする。</li> </ul>									
4 AET の後について、全員 で好きなスポ - ツの尋ね 方・答え方を繰り返し練 習する。	A: JTE が提示した児童の描いたカ - ドを示しながら、尋ね方・答え 方のモデルの発音をする。 A&J: ペアの活動を見回り、積極的 に取り組む児童を笑顔で認める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童には、事前に家庭学習で、自分の好きなスポ - ツを一つ決めて、カ - ドに用具等を描かせておく。</li> <li>・JTE は、児童の描いてきた絵カ - ドをどの児童にも見えるように掲示する。</li> <li>・単調な練習にならないよう、リズムよく行う。</li> <li>・リピートさせるだけでなく、絵カードを見ながら児童自身が思いだして言える機会を多くする。</li> <li>・AET と JTE は、全ペアを見届け、自信のない児童をその場で援助する。</li> <li>・繰り返したり、児童に確認したりして、全員が理解できるようにする。</li> </ul>									
5 ペアで尋ね方と答え方を 交代したり、好きなスポ - ツを変えたりしながら 練習する。	A&J: ペアの活動を見回り、積極的 に取り組む児童を笑顔で認める。 自信のなさそうな児童にはつま ずきに応じた指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童には、事前に家庭学習で、自分の好きなスポ - ツを一つ決めて、カ - ドに用具等を描かせておく。</li> <li>・JTE は、児童の描いてきた絵カ - ドをどの児童にも見えるように掲示する。</li> <li>・単調な練習にならないよう、リズムよく行う。</li> <li>・リピートさせるだけでなく、絵カードを見ながら児童自身が思いだして言える機会を多くする。</li> <li>・AET と JTE は、全ペアを見届け、自信のない児童をその場で援助する。</li> <li>・繰り返したり、児童に確認したりして、全員が理解できるようにする。</li> </ul>									
6 グル - プに分かれてイン タビュー - ゲ - ムを楽しむ。	A&J: ゲームの方法をデモンスト レ - ションにより示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET と JTE は、全ペアを見届け、自信のない児童をその場で援助する。</li> <li>・繰り返したり、児童に確認したりして、全員が理解できるようにする。</li> <li>・AET と JTE は、ゲームの中に入り、自信のない児童を中心に援助する。</li> <li>・制限時間を決めて、その時間内はBGMを流し、楽しい雰囲気をつくるようにする。</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー - ゲ - ムのカ - ドを全員に配る。</li> <li>・全員スクランブルで相手を見つけて、1回じゃんけんをする。</li> <li>・じゃんけんをして勝った児童は、What sports do you like?と尋ね、負けた児童は、I like ~ .と答える。</li> <li>・問答後、じゃんけんに勝った児童は、負けた児童に「名前」と「答えたスポ - ツ名」を自分のカ - ドに記入してもらう。(男子は黒ペン、女子は赤ペン)</li> <li>・同姓の児童からのサインは1点、異性の児童からは2点、先生からは3点をポイントとしてもらえる。</li> <li>・じゃんけんの相手を代えながら続け、制限時間内で個人やグル - プの合計点を競う。</li> </ul> <p>名前: (b) 宮地たろう ポイント9 点</p> <table border="1"> <tr> <td>(b) さとうひろし サッカー</td> <td>(g) すずき広子 バレー</td> </tr> <tr> <td>(t) ジョン バスケット</td> <td>(g) たかはし花子 バトミントン</td> </tr> <tr> <td>(b) 田中 明 すいえい</td> <td></td> </tr> </table>		(b) さとうひろし サッカー	(g) すずき広子 バレー	(t) ジョン バスケット	(g) たかはし花子 バトミントン	(b) 田中 明 すいえい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限時間を決めて、その時間内はBGMを流し、楽しい雰囲気をつくるようにする。</li> </ul>			
(b) さとうひろし サッカー	(g) すずき広子 バレー										
(t) ジョン バスケット	(g) たかはし花子 バトミントン										
(b) 田中 明 すいえい											
振り返りタイム 7 本時の活動の振り返り、 感想を交流する。	A&J: 児童の感想を肯定的に評価す るとともに、表情の豊かさ、大き な声、大きなジェスチャー、相 手との関わり方等、多面的に児童 のよさを捉えて紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの勝ち、負けにこだわり寂しい思いをする児童が生まれないよう、よい姿の価値付けを十分に行いたい。</li> </ul>									
8 挨拶をする。	AET: Good-bye, everyone. S: Good-bye, (AETの名前) See you. See you.										